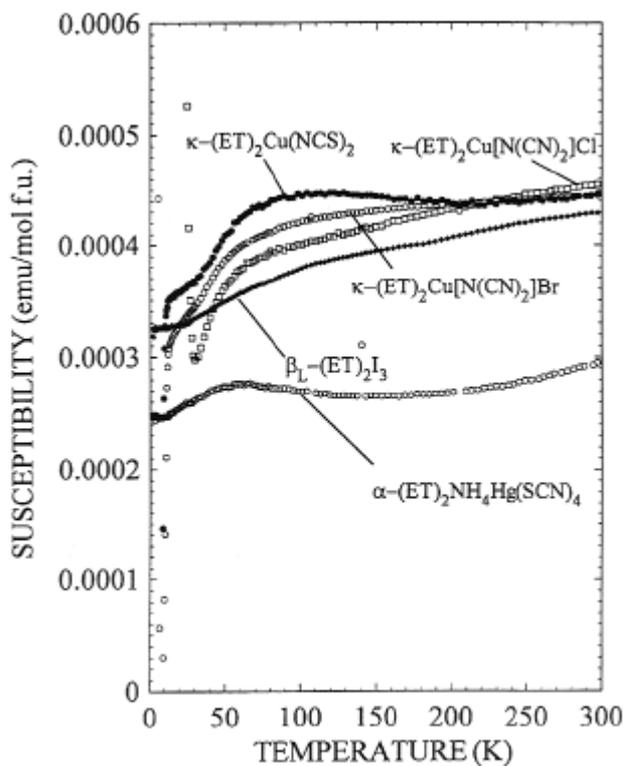
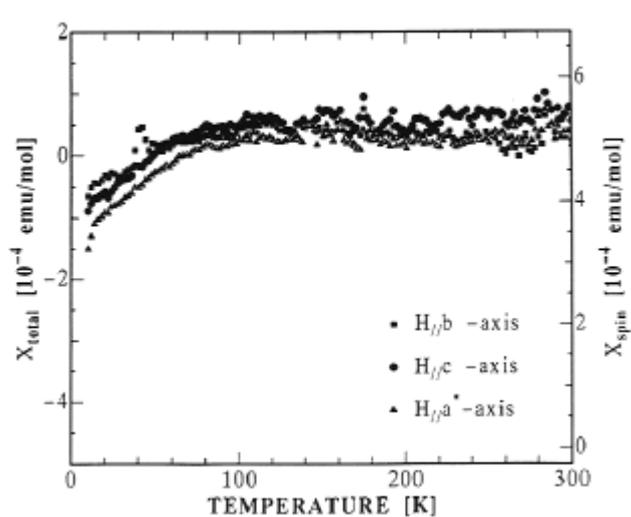


[2] κ -(ET)₂X

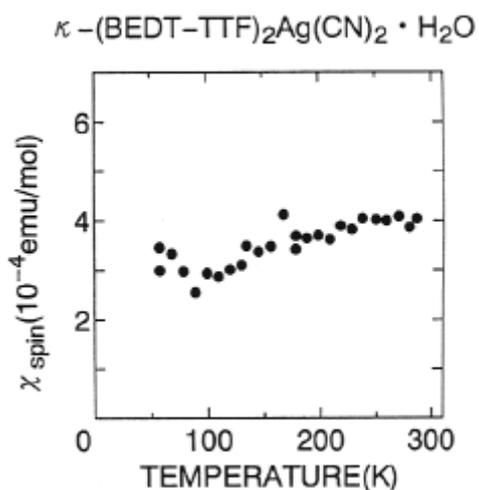
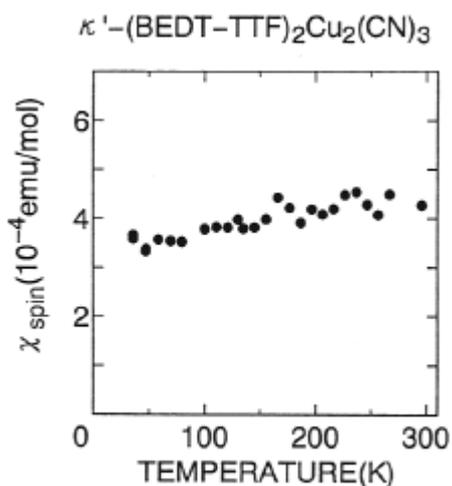
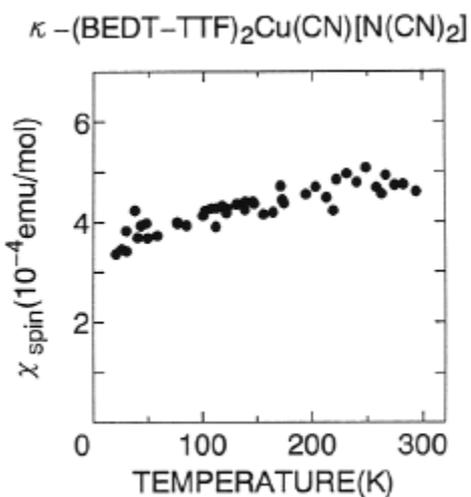
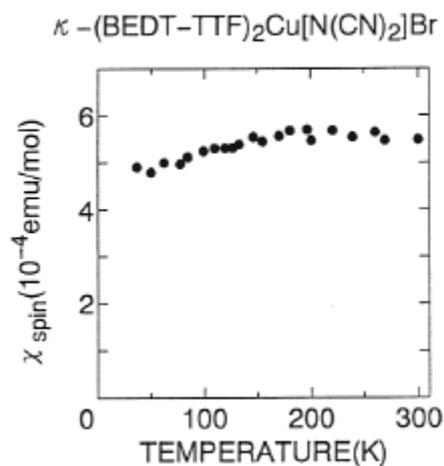
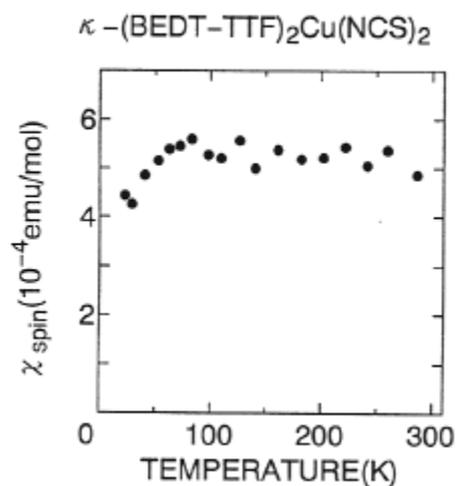
K. Kanoda *et al.* Hyperfine Interactions **104**, 235 (1997)

コメント： 1) κ -(ET)₂X の粉末試料、2) 静磁化率、3) コアの反磁性を補正済み、



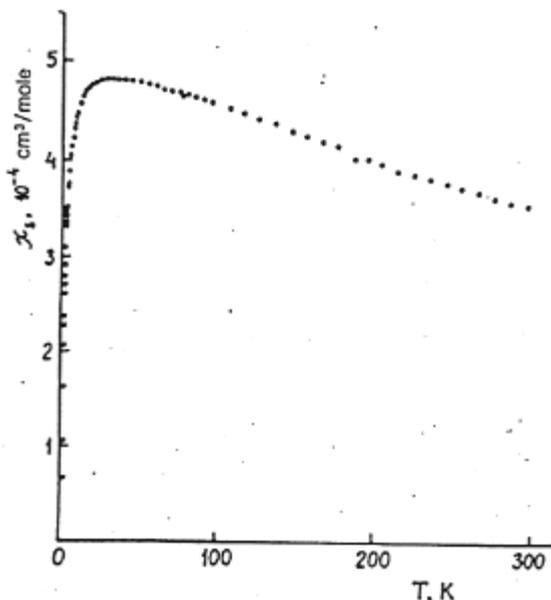
N. Toyota *et al.*, Physica C **178**, 339 (1991)

コメント： 1) κ -(ET)₂Cu(NCS)₂ の単結晶、2) 静磁化率の結晶軸方向依存性、3) 左目盛り: 静磁化率の生データ、右目盛り: コアの反磁性を補正後の値

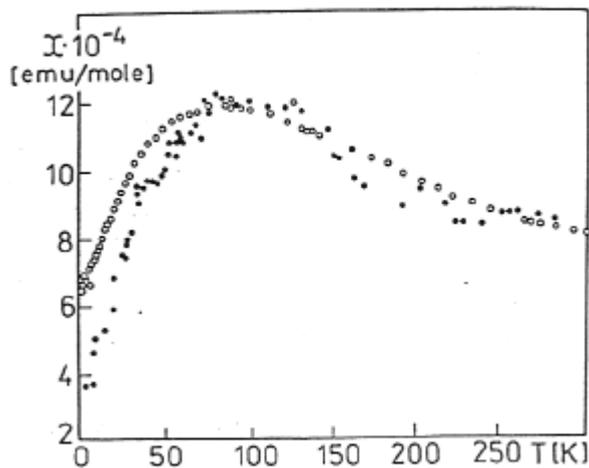


T. Nakamura *et al.* J. Phys. Soc. Jpn. **63**, 4110 (1994)

コメント： 1) κ -(ET)₂X の単結晶試料、 2) ESR で決めたスピン磁化率、 3) κ' -(ET)₂Cu₂(CN)₃ は 2 つある同型物質の中で常圧で超伝導転移する方の物質



A.V. Skripov et al., JETP Lett. **49**, 265 (1989).



J. Phys. France **49**, 653 (1988).

左図コメント： 1)多結晶試料の静磁化率、2)ET 1 モル当たりの磁化率であることに注意、3)コアの反磁性磁化率(ET 1 モル当たり)を $-2.87 \times 10^{-4} \text{ emu/mole}$ として補正。

右図コメント： 1) χ は静磁化率、コアの反磁性補正済み、2) \bullet は ESR で決めたスピン磁化率、ただし 250K で静磁化率と一致するように規格化されている。